

「松竹大歌舞伎 特別価格でのご案内」

6月に入り梅雨空が目立つようになりました。日頃より横須賀学院 PTA 活動をお支え頂き感謝いたします。

さて、横須賀学院 PTA の保護者の皆様に向けて、8月31日によこすか芸術劇場にて上演される「松竹大歌舞伎」を特別価格にてお楽しみいただけることとなりました。

ご希望の方は、劇場の電話予約センターに直接ご連絡頂くか、劇場1階窓口にご来場いただき、横須賀学院である旨を伝えていただくと割引料金で購入することができます。(インターネットでの販売は対象外となります。)

開演時間等詳細は別紙公演チラシをご覧ください。

今回の主演・演目について **ここがおススメ！**

主演 中村鴈治郎なりこまや (成駒屋) 上方歌舞伎(関西)の継承者。坂田藤十郎と扇千景の長男 弟は中村扇雀

演目「土屋主税 (つちやちから)」

いわゆる忠臣蔵外伝というやつです。忠臣蔵はその人気ぶりから星の数ほど外伝があるんだけどその中でもトップ3に入る有名な話。忠臣蔵のドラマや映画では討ち入りの場面で必ずこのエピソードが使われる。というか使わないと「なんであの場面がないの！」とファンが怒る。

土屋家は赤穂浪士の仇である吉良上野介のお隣さん。

当主の主税も世間のご多分にもれず赤穂臈臈。まわりも「はやく吉良邸に討ち入りしないかなー」「なんで赤穂浪士はかたき討ちしないんだよー」と野次馬根性丸出しで、赤穂浪士の妹である侍女につらく当たったりして勝手放題。

しかし当主の主税は、前日に赤穂浪士の一人が詠んだ句「年の瀬や水の流れも人の身も」の返し句「あしたまたるるその宝船」が討ち入りを予告していると見抜き「よっしゃー」と興奮する。

そこへにわか隣りの吉良家が大騒ぎ。

「おーっきたーっ討ち入りだーっやったーっ」と大はしゃぎ。

さすがに助太刀するわけにはいかずワクワクしながら様子を見てみると、赤穂の使者がお隣さんに迷惑かけちゃならんと土屋家を訪れて「仇討ちに参上、願わくばお手出し無用」てなことを告げますと、おとなりさんの土屋さんは「たとえなんびとたりともこの塀を乗り越え当屋敷に逃れ来たる卑怯ものあらばそのまま塀の上から追い返すでござろう。高張提灯(たかはりちょうちん)を用意いたせっ」夜中の吉良邸を赤穂のために照らしてあげるというエコ臈臈。

「あしたまたるるその宝船」とはそういう意味だったのか〜。

そしてひとこと「浅野殿は良い家来を持たれた！」と名台詞。

このセリフを聴く芝居なんです。

この話はそっくりな演目があってそれが「松浦の太鼓」同ネタの関東版。土屋主税は上方版の演目でちょっと地味、いやもっと派手という意見双方あり。

ちなみに「松浦の太鼓」はコロナ前のPTA文化教室で歌舞伎座ツアーに行った時の演目でした。

今回主演の中村鴈治郎、この演目を代々家の芸としているので歌舞伎ファンは「なるほど、鴈治郎の土屋主税ね、ふんふん」となるプログラムであります。

(小学校教頭 山口旬)